

Bloomberg との協業による資産運用業務の効率化および高度化 ～デジタル技術の活用による資産運用部門の働き方・業務プロセス変革～

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長:広瀬 伸一、以下「当社」)とBloomberg L.P.(在日代表:ノーマン・トゥエイボーム、以下「ブルームバーグ」)は、デジタル技術を活用し、当社の資産運用業務の効率化および高度なデータ分析に基づく高度化を進めるための協業を開始します。

1. 背景

当社は、デジタルを活用した働き方変革や業務プロセス変革の取り組みを全社で推進しています。人の力とデジタルのベストミックスにより、柔軟かつ生産性の高い働き方の実現や、クオリティと効率を両立する新しい業務プロセスの構築などを通じて、お客様へ新たな価値を提供し続けることに挑戦しています。

新たな挑戦として、お客様からお預かりした保険料などを原資とした資産運用に取り組む部門においても、運用収益拡大に向けて、現行業務の大幅な自動化・効率化およびデータドリブンな意思決定を土台とした資産運用の高度化に取り組めます。本取り組みにあたり、高度な分析を可能とする最先端のシステムやデジタル技術の活用を進めるため、ブルームバーグと協業することといたしました。

2. 取り組みの概要

ブルームバーグと協業し、以下の取り組みを進めます。

① オーダーマネジメントシステムの活用による取引執行業務の自動化・効率化

発注や約定などの定例の取引執行業務を自動化する「オーダーマネジメントシステム AIM」を導入します。本システムの導入とともに、現行の事務フローの抜本的な見直しも併せて実施し、年間 10,000 時間に相当する業務の自動化・効率化と定例業務の大幅な削減を実現します。

② データ分析基盤の活用による資産運用業務の高度化

ブルームバーグが保有する金融市場のビックデータと当社が保有する取引・残高等のデータを統合し、Python などのプログラミング言語を用いた高度な分析を可能とするデータ分析基盤「BQuant エンタープライズ」を日本で初めて導入します。これにより、金融市場で流通する債券の利回り・業種・流動性等を総合的に分析し、最適な投資対象を発掘する

当社独自の高度な分析モデルの構築が可能となります。新たな投資戦略の立案におけるスピードと質の向上や、機械学習を利用した市場リスクの予兆管理などを実現することで、運用収益拡大に向けた業務の高度化を進めていきます。

③ デジタルリテラシー向上のための研修プログラムの実施

Python などのプログラミング言語の習得に向けて、ブルームバーグの協力のもと当社資産運用部門を対象とした専用の研修プログラムを実施します。これにより、当社の資産運用部門全体のデジタルリテラシー向上に取り組みます。

3. 今後について

当社とブルームバーグは、今後も、過去の市場データの分析結果に基づく最適な取引執行や外部機関とのシステム連携による定例業務の自動化など、デジタル技術を活用した業務効率化・高度化に向けた取り組みを進めていきます。資産運用部門における DX をさらに加速させ、データドリブンな意思決定を実践・実行することで新たな価値創出につなげていきます。

以上